

## 景

ベルトランに捧ぐ

グレーのコンクリート水路が折れ線のように  
ずっと続いている  
その底を静かに流れている水  
その中に一羽の白いサギが居る

その水路の脇にアスファルトの道が続いていて  
上っていて  
あたかも空の果てのほうへと続いていて  
視線は自然に雲へと吸い寄せられる

その道の脇には、ずっと  
カラフルに塗られた家々が続いていて  
その屋根屋根は  
まるで波の連なりのようだ

それらの家々の中には部屋があるのだろう  
出窓に置物が飾られ  
家具調度品が並べられた  
いくつもの部屋があるのだろう

その中に明滅するものがある  
スクリーン

それを血走った目で見つめる者が居る

カチ、カチという音が響いている

雲がゆったりと流れている  
夕暮に向けて

(2009.2.18)